

# 安寧で持続可能なサイバーコミュニティシステムの試み

## Experimental Study of Reliable and Sustainable Cyber Community System for Kyoto Domain

横山 淳<sup>1</sup>, 今井 賢治<sup>2</sup>, 前田 悠希<sup>1</sup>, 内藤 昭三<sup>2</sup>

Atsushi Yokoyama<sup>1</sup>, Kenji Imai<sup>2</sup>, Yuki Maeda<sup>1</sup> and Shozo Naito<sup>2</sup>

<sup>1</sup> アイマトリックス株式会社 (imatrix corp.)

<sup>2</sup> 京都情報大学院大学サイバー京都研究所

(Cyber Kyoto Laboratory, The Kyoto College of Graduate Studies for Informatics)

### Abstract

A brand-new geographic top-level domain “.kyoto” was born on Jan 28, 2015 by registering it in the root zone of the Internet. Registrants of the .kyoto are strictly restricted to the nexus of Kyoto, and policy of using kyoto domain is rigorously maintained for achieving security and quality. This paper describes a unique approach for maintaining reliable and sustainable cyber community of Kyoto, respectively called Kyoto-security and Kyoto-quality.

### 1. はじめに

近年、観光立国の実現に向けた取り組みを背景に [1], 地域ブランドの発信や地域活性化を図った地域社会の ICT 利活用が強く進められている。一方、2015 年度の日本年金機構個人情報漏洩 [2] や、2016 年度の佐賀県学校教育ネットワークに対する未成年の不正アクセスの問題 [3] などセキュリティインシデントは後を絶たず、ICT 利活用は高いセキュリティレベルに準拠したシステムにより進められなければならない。従って、地域ブランド構築、地域活性を促進しつつ、かつセキュアな情報基盤を担える ICT システムの構築は喫緊の課題といえる。

本稿では、前述の様な ICT システムの構築に向けた、一般の都市計画で施行される“防犯対策”、“景観政策”をインターネット空間に展開するシステムについて紹介する。本システムの、本研究の共著者であるサイバー京都研究所が管理している「.kyoto」ドメインにて試験運用されており、その結果に沿って報告する。「.kyoto」ドメインは、2015 年 1 月 28 日に、ルートゾーンに登録され、運用を開始した。登録は、京都に関連するユーザに限定され、また運用ポリシーは、高いセキュリティを確保

し、性風俗は禁止するなど、京都の地域特性を強く意識したものとなっている。前述の“防犯対策”、“景観政策”を担うシステムは、それぞれ「京都セキュリティ」、「京都クオリティ」と呼称される。図 1 に京都セキュリティ、京都クオリティ、および .kyoto ドメインを含むシステムの全体構成図を示す。

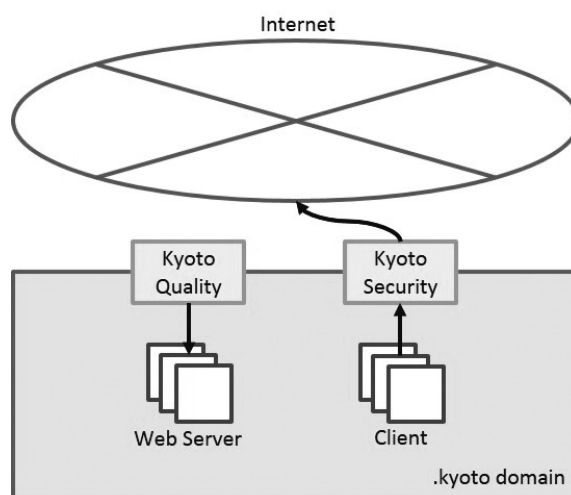


図 1 本システムの全体構成図概念図